

トウヌのイブニング

Fate/staynight 非公式ファンブック Archer x Shirou

R18





さて



人の住みつかなくなつた家は
すぐ腐るといふし

たまには
掃除をして
おかねばな



なっ!!?



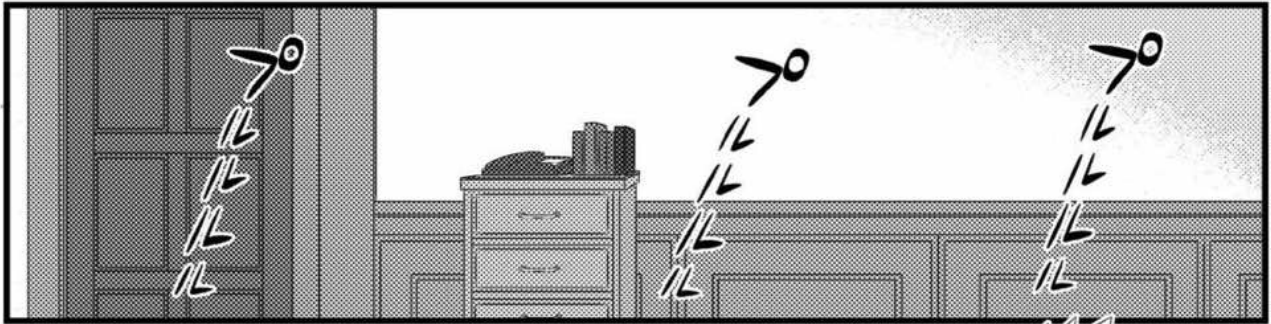
凛とのパスが、
契約自体が
断たれている—!?



これは…
まさか



何だ、
今のは…



うちに
いてくれて
助かったわ

そっちにもダメージ
行っちゃったん
じゃないかと思って

今かなり
無理やりな
方法で契約
断ち切ったから



もしもし
アーチャー？
私

凛！



ちょっと厄介なことになってるのよ

時計塔の中でもかなりヤバイ連中に目をつけられちゃって



凜

一体何があつた



そいつらに聖杯戦争で召還されたサーヴァントと契約状態にあるって知られるとマズイのよ

だからアーチャーには悪いんだけど、緊急手段として契約を切らせてもらったってわけ



時間がないから要点だけ言うわよ

アーチャー、貴方はこれから私以外の誰かを代理マスターにして契約して



凜、援護が必要なのであれば：

大丈夫よこっちの事はこっちで何とかするわ



今サーヴァントと
契約してない
元マスターは
衛宮君くらいだから

アンタは
嫌がるかも
しれないけど
衛宮君に
頼みなさい！



こっちの
ごたごたが
片付いたら一旦
日本に戻るわ

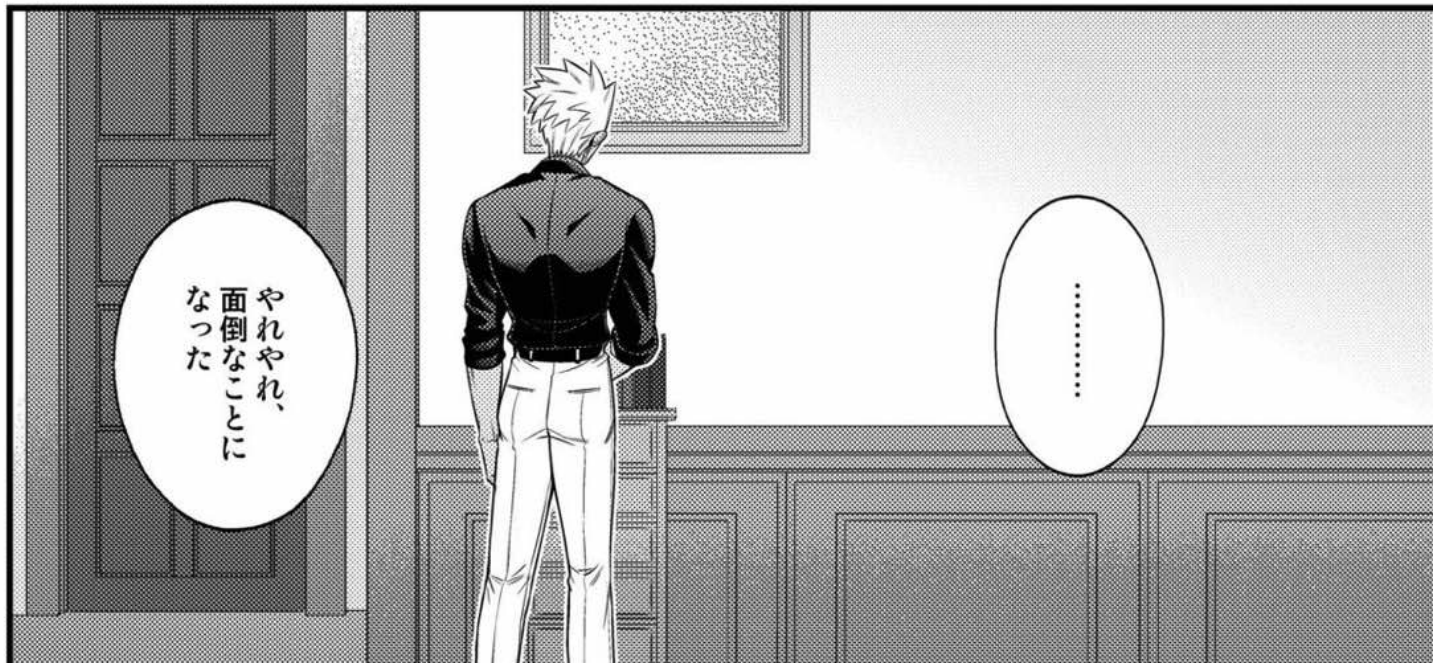
その時まで
ちゃんと消えずに
留まっている事、
いいわね？



凛っ
おい……！

まずっじゃ
そういうこと
だから！

凛！



やれやれ、
面倒なこと
になった

……



衛宮君に
頼みなさい

.....



代理マスターか……

確かに、
何の依代も
持たぬ身で
現界し続ける
ことはできない

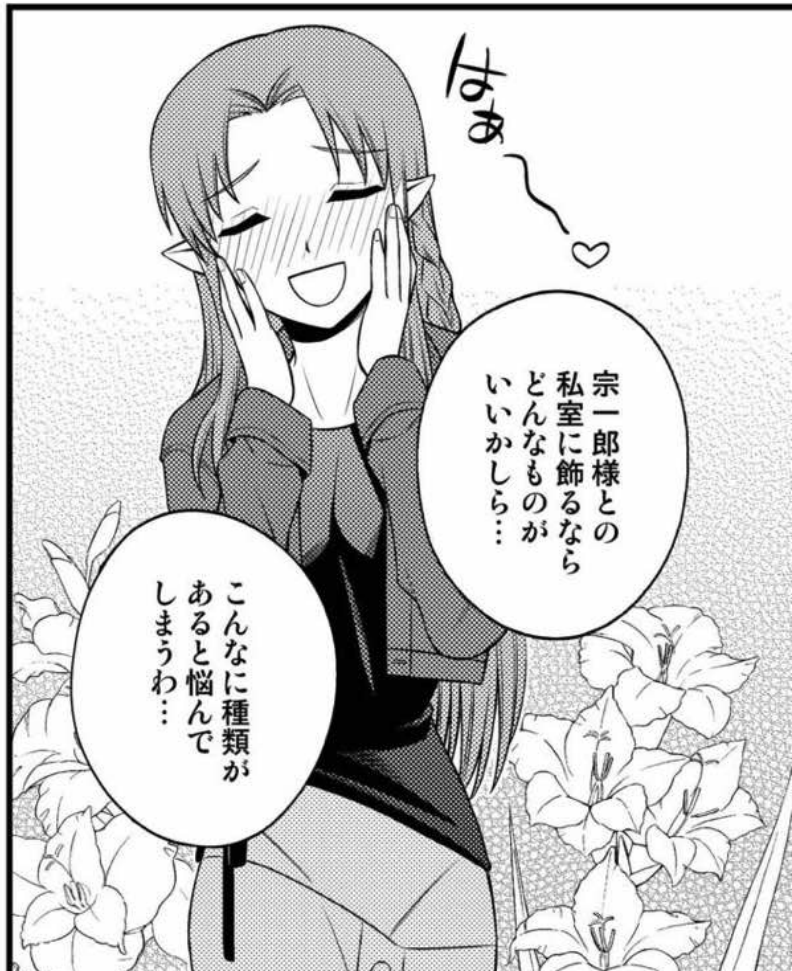


もしくは……



他をあたろう。

魔力量の多い
マスターなら二体の
サーヴァント契約も
可能かもしれん





どうかしたの
ですか？

あら、
アーチャー
じゃない



探したぞ、
キヤスター



貴方が私に
相談事だ
なんてね

あら
珍しい

折り入って
相談したい
ことがある



丁度いい

ライダーにも
聞いてもらおう。
実は…



随分
疲弊して
いるようですが



代理
マスターねえ

確かに私が
貴方のマスターに
なってあげる事も
可能だけれど

それ相應の
見返りが
あつての
事かしら？



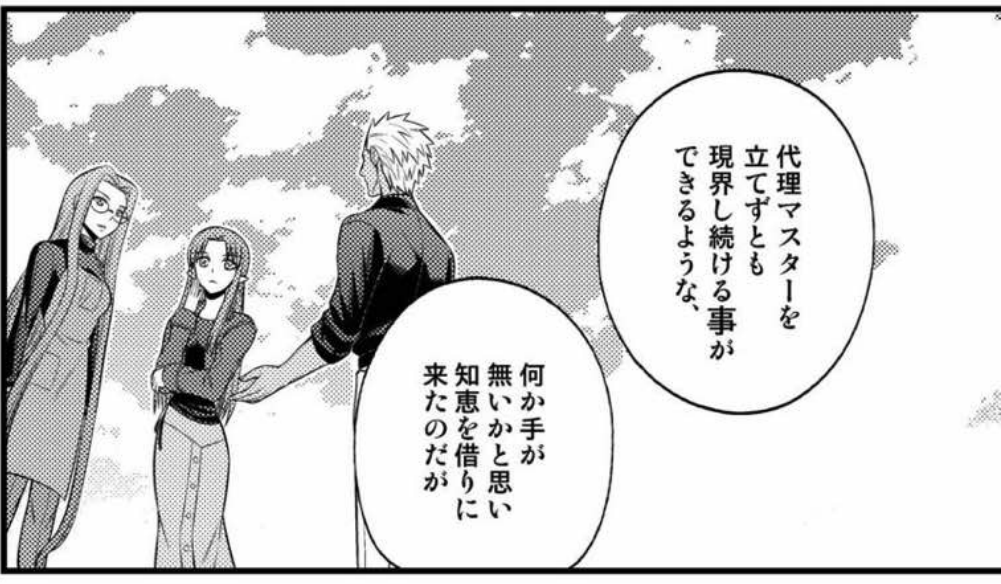
依代を立てない
限りお話し
ならないわね

貴方は
アーチャーの
クラスだから、
持って二日と
いうところかしら



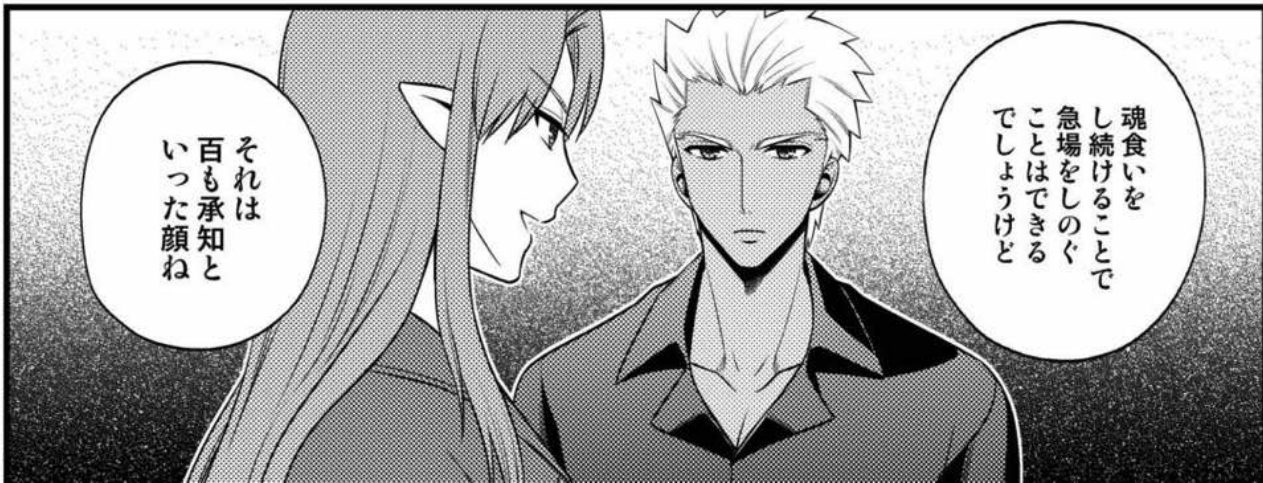
いや、それは
こちらから辞退
させていただこう

唯で済むとは
思っていない



代理マスターを
立てずとも
現界し続ける事が
できるような、

何か手が
無いかと思
知恵を借り
来たのだが



魂食いを
し続けること
急場をしど
ことはでき
でしょうけど

それは
百も承知と
いった顔ね



私も桜の負担に
なるような事を
許可するわけには
いきません

力になれず
申し訳ないの
ですが…

我が
マスターの事は
諦めて下さい



残念だけど、
マスターを
得られない
サーヴァントは
消え去るのみ

私だってあの時
宗一郎様が
居なかったら
とっくに消え去って
いたんですもの



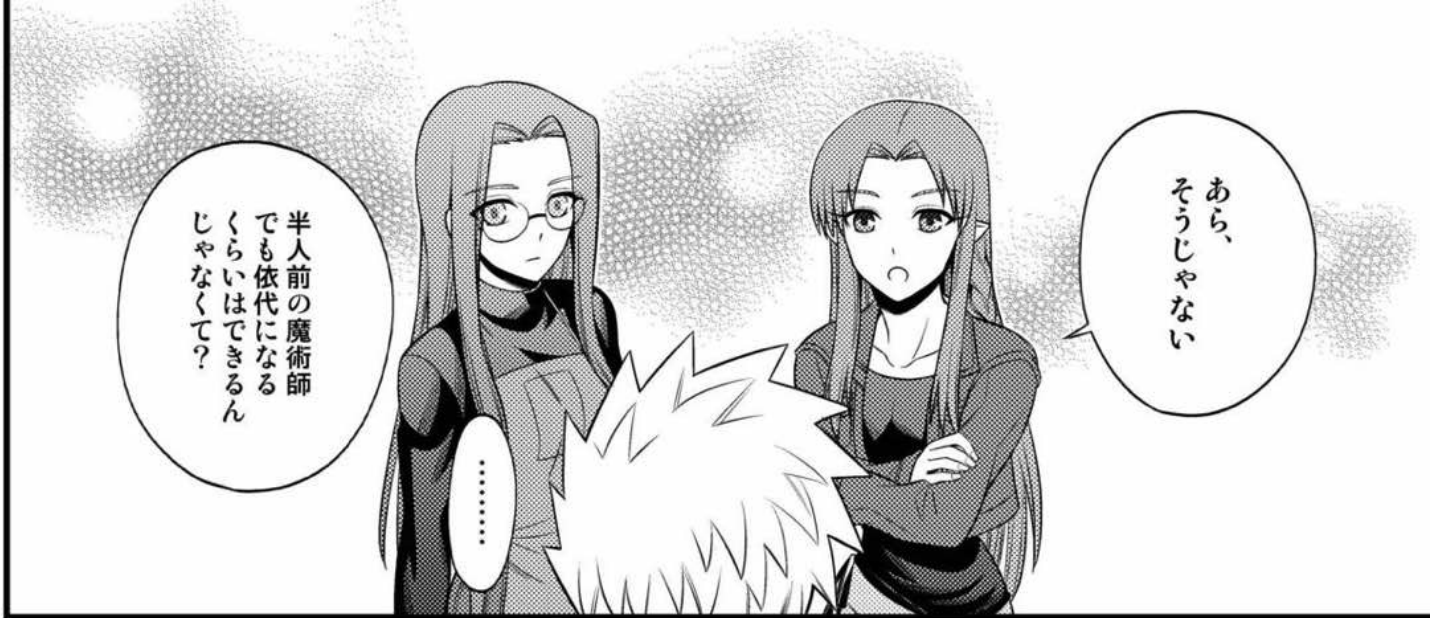
私も桜君の
負担になる
ような事は
望んでいない

何か他に
解決策を
模索してみ
ましょう



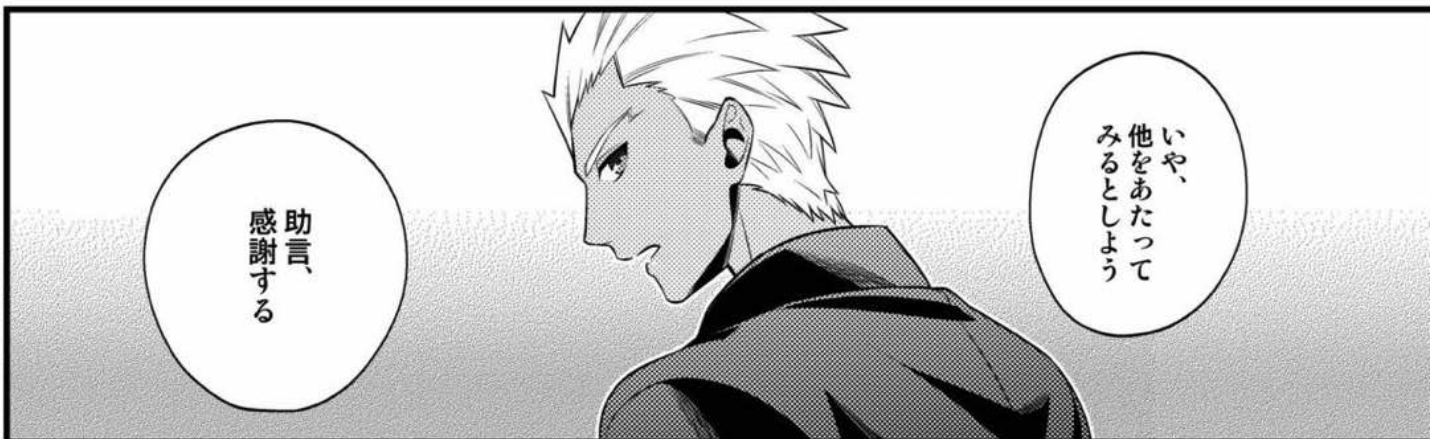
あの

サーヴァントの
居ないマスター
なら一人いると
思うのですが



半人前の魔術師
でも依代になる
くらいはできるん
じゃなくて？

あら、
そうじゃない



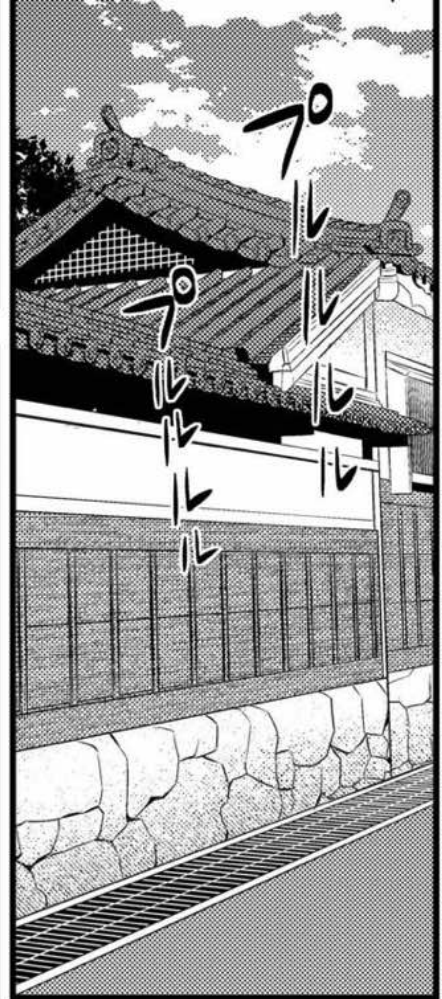
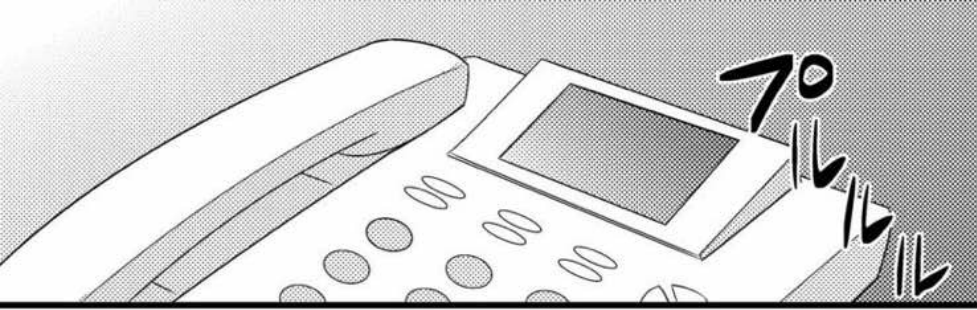
助言、
感謝する

いや、
他をあたって
みるとしよう



そう、
難儀な性格ね…

まあ、
あのアーチャーが
素直に衛宮士郎に
頭を垂れるとは
とても思えません



衛宮ですが
もしもし



アーチャーの事
なんだけど、
もうそっちに
来たかしら？

アーチャー？
別に来ないけど、
どうかしたのか？



アイツ



あ、士郎？
私

遠坂？

ロンドンから
国際電話か？



ちよつと
事情があつて、

アイツとの
契約を一時的に
断ち切つたのよ

だから
アーチャーは今、
マスターの居ない
状態で彷徨つてる
ことになるの



私が戻ってくるまで
代理マスターとして
アーチャーに
魔力提供して
ほしいのよ

士郎、悪いけど
アーチャーの事
頼まれてくれる
かしら



アイツにちゃんと
衛宮君と契約して
つて言つておいた
んだけどな…

え!?



わかつた、
そういうことなら
俺も協力する

遠坂の方は
事情があるつて
言つてたけど
大丈夫なのか?



ふふ、
大丈夫よ

じゃ、
そういう事
だから
お願いね

何で
笑われた
んだ?





なに
やってんのー？

あれー？
衛宮じゃん



昨日ガングロで
白髪の変な奴が
この辺うろついて
いなかったか？

蒔寺いい所に！
突然なんだが、



昨日職員室から
出てくるの
見かけたよー



あーいたいた！
インドっぽい
人！

インド…？





アーチャー
来ただろ？

代理マスターの件
引き受けたのか？



キャスター！

あら今度は
坊やなの



丁重にお断り
されたわよ

まさか

まあ
条件によっては
引き受けない事も
なかったんだけど



じゃあアイツは
何の用で会いに
来たんだ？



まさか…

人を襲えって
言ったのか？



マスターと
契約せず現界
し続ける方法
はないかですって



後は本人の問題
なんじゃない
かしらね



そんな事、
教えずとも
分かりきっている
ことでしょう？

私が助言する
ようなことは
何も無かったわ







このまま
朝になれば

この身を
保つことすら
危うくなる
だろう



それにしても、
最後に行き着く
場所がここ
だとは…

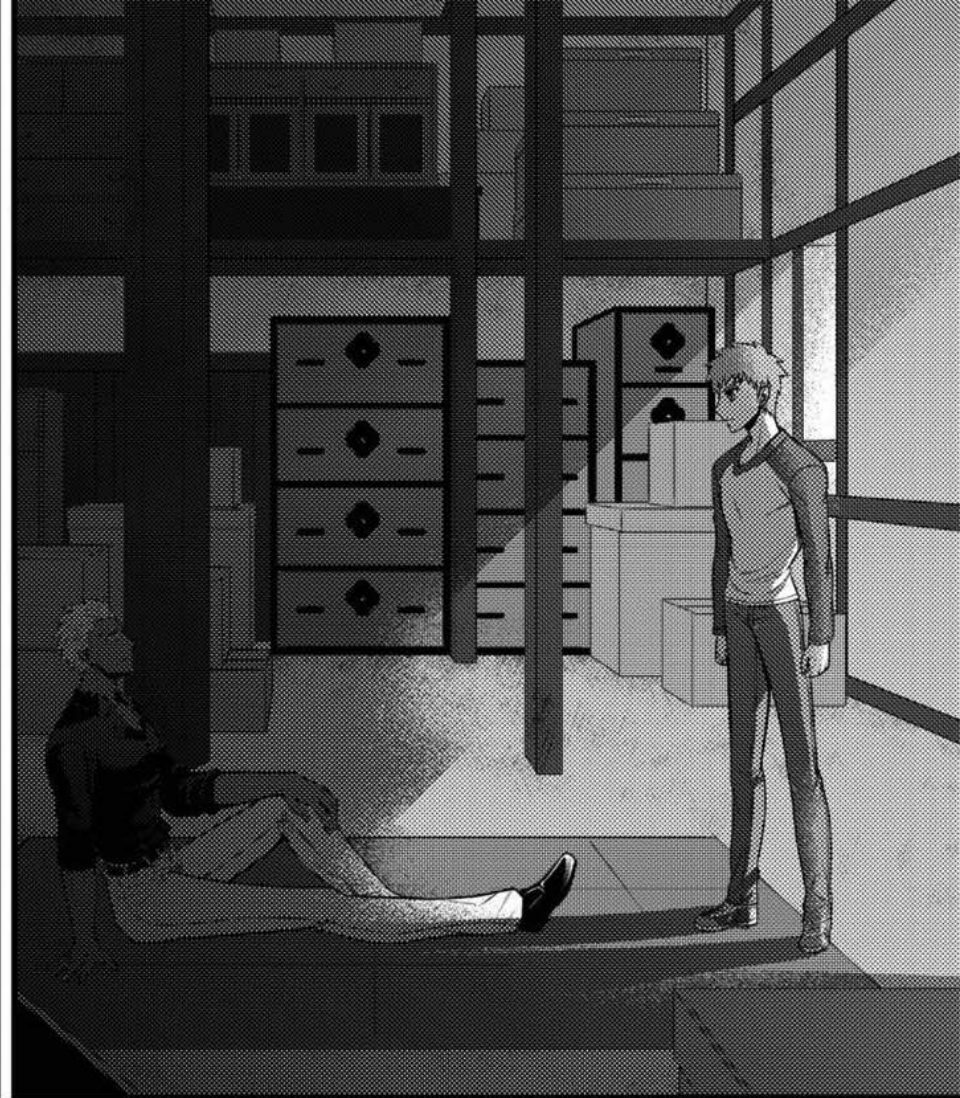
殆ど残ってはいないが、
生前の記憶の
名残だろうか…

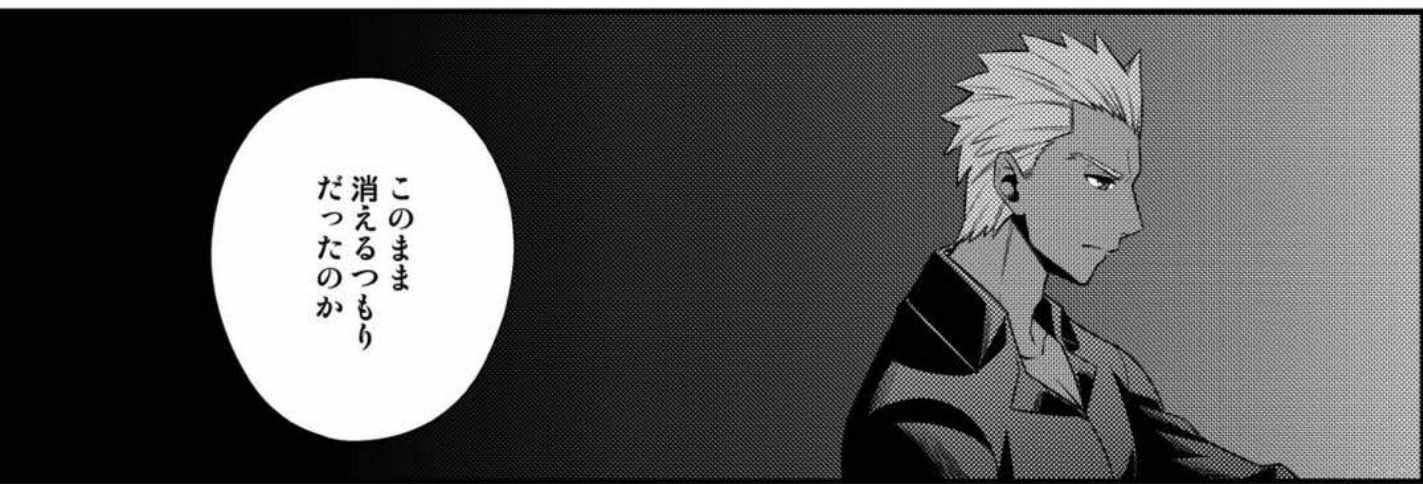


結局

何の打開策も
見つからぬまま
夜を向かえたか…











おかしいな

でも
マスターには
なれたみたい
だぞ？



？



衛宮士郎、
貴様が生半可な
魔術師である事は
承知していたが

魔法のバスを
通すことも
できるのか

え!?



確かに…

魔法の流れて行く
感じがしない…
どういうことだ？



貴様が
へっほこな
せいにか

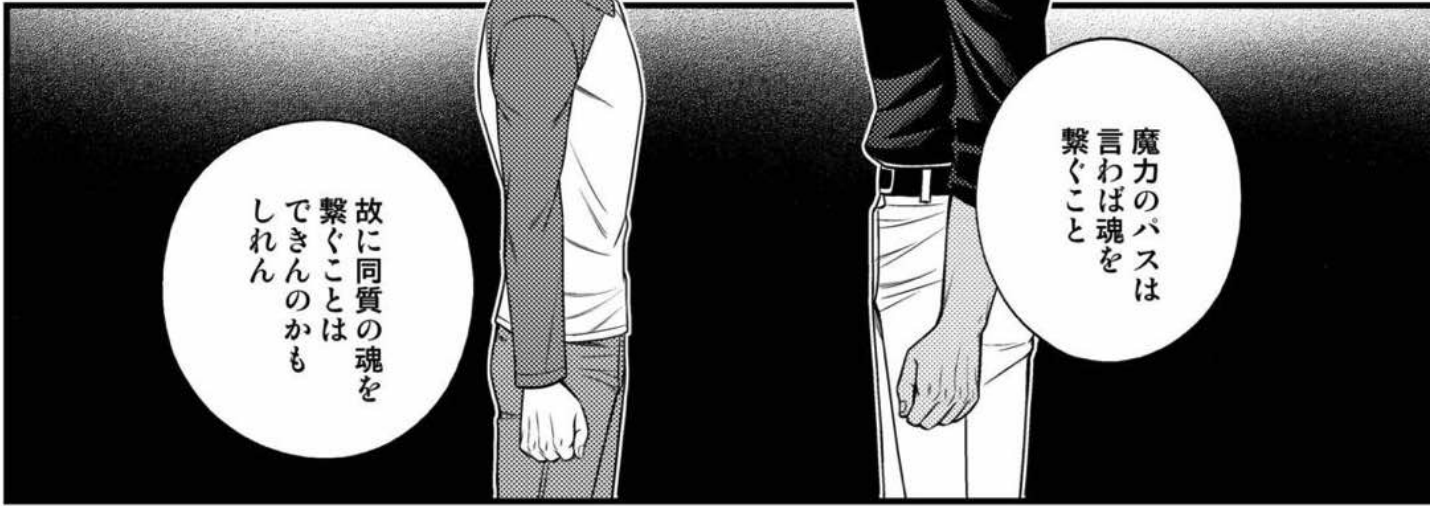
もしくは私という
存在が貴様と
反発している
せいかもしれんな

ム



魂の観点から
見れば私は
元々お前から
生まれたものだ

私はもはや
お前と同一の
存在ではないが



故に同質の魂を
繋ぐことは
できるのかも
しれん

魔力のパスは
言わば魂を
繋ぐこと



どうするんだよ

お前、
魔力が足りなくて
朝まで持たないかも
しれないんだろ



それって
つまり…

最初の頃の
俺とセイバーの
状態と同じって
ことか!?



貴様…

何を考えて
いる…?









する側じゃなくて
される側って
ことか!?

お、俺
経験ないしっ

それで魔力供給
できるのか…?



え

ええええ!!?



えっ
カ
ア
ア
ア…

あ…

う…



体を繋げた状態で
お前の意識が開放
されれば魔力供給を
受けることができる

この辺はお前の様な
半人前の魔術師では
話にならんから
私に任せておけ

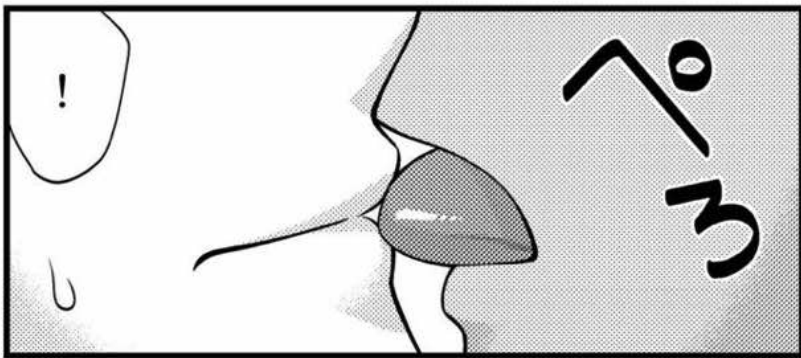


無理にとは
いわん

魔力供給
だけなら
他に方法も…

いや、
わかった
やる







先ほどの言は
どこへやら、

キスだけでも
十分反応している
ようだが？

うっ…



この程度で
音を上げるなよ

馬鹿野郎、
誰が音なんか
上げるか



ぎゅっ

お前はどうか
なんだよっ

コラ
やめんかつ



過去の自分を
相手にするなんて

嫌じゃない
のかよ



なんていうか

俺にとってお前は
まだ知らない
未来の人間だし

俺がいつか
辿り着くかも
しれない
可能性の一つに
過ぎないけどさ

お前は、
元々俺だった
わけで…



悪い

余計な
質問だった…



人が
考えないように
していることを
ペラペラと

うっ



……



抵抗がないと
いえば
嘘になる

死してなお
多くの事を経験し
この世の不条理に
晒されてきた

だが、オレは
今のお前より
長く生き

そのことを
思えば、お前を
抱くことなど
苦にはならん



何だ？

いいや、
俺は今からお前に
抱かれるのかと
思うとき、急に
恥ずかしく……

お前という
やつは…







アーチャーの

予想以上に
デカイ...



おっ

おれも
やるっ!!



うっ...



馬鹿にするな

どうってこと
ないっ



無理
することは
無いぞ





怖気
ついたか?

へ、別にっ

っあ...

う...

はあ...

あっあっ...



っ...

くっ

ぐっ



あ...

なんか

変だ

そ...



ここか?



うっうっ...

分かるか、
三本も飲み込んで
いるぞ

い、言うな...っ



大分解れた
ようだな



改めて向かい合っとなんか恥ずかしい...



わっ...

あ、

う.....



こっちを向け





お前

今、魔術…っ
使っただろ…っ



あ…？

んっ…

痛みが
和らいだ…？



使うなっ

馬鹿…っ

こんなことに、

魔力



う、

ん…

お前も
達せねば
魔力供給に
ならん

そんな事より
もっと集中しろ

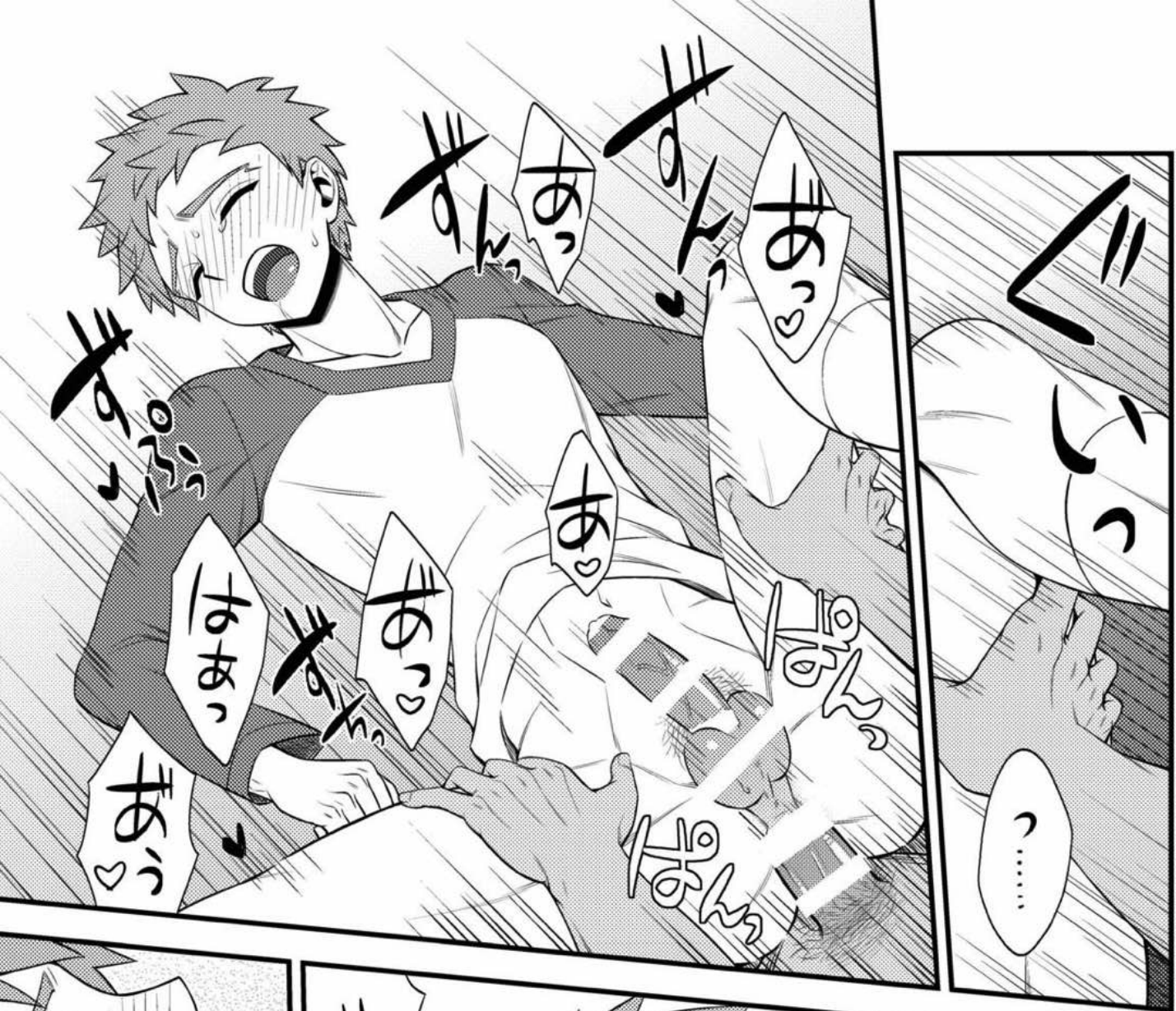


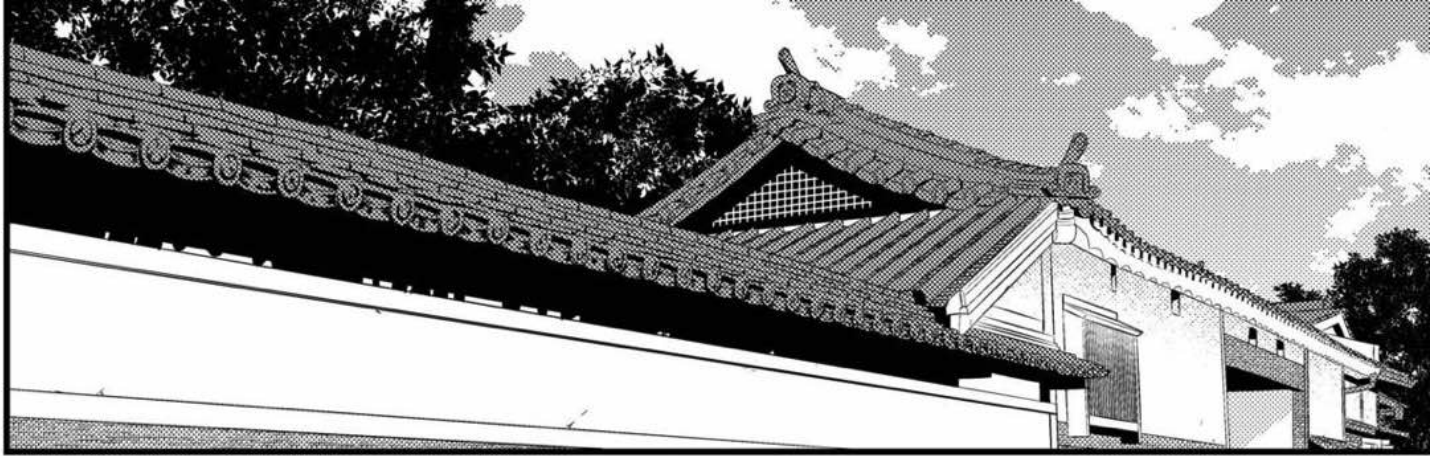
魔力供給を
円滑に
行うためだ

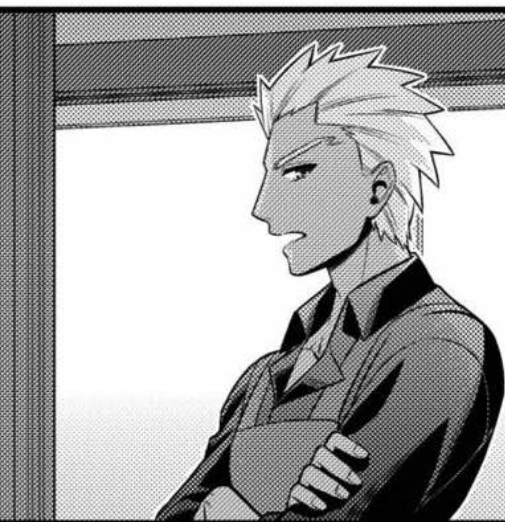












魔力供給の後
気をやったお前を
そのままにしておく
訳にはいくまい



お、お前が
俺をここに...？



助かった...
あのまま桜が
起こしに来たら
大変な事にな
る所だった...
.....



な、
なんだよそれ

別に一日寝る
ほどの事じゃ…



もう
昼過ぎだ
たわけ

桜君や
藤村先生には
それらしい
言い訳をして
おいたから

今日は一日
寝ていることだ



って今
何時だ!?

かっ!

あつ
痛つつつ…!!!



お前は今
腰が立つ状態
ではあるまい

それに
かなりの量の
魔力をお前から
吸い上げた

今日は一日
力が入らん
だろうよ



そ

そうなのか…

で、何でお前が
エブロンつけてる
んだよ

今日はお前の
代わりに
家事一切を
引き受けよう

げっ



午前中に
粗方
片付けたが

お前の家事は
まったく
なっとらんな！

何で妙に
いきいきしてる
んだよお前は…



とにかく
お前は
しばらく
寝ている

一日もすれば
回復するだろう

それと

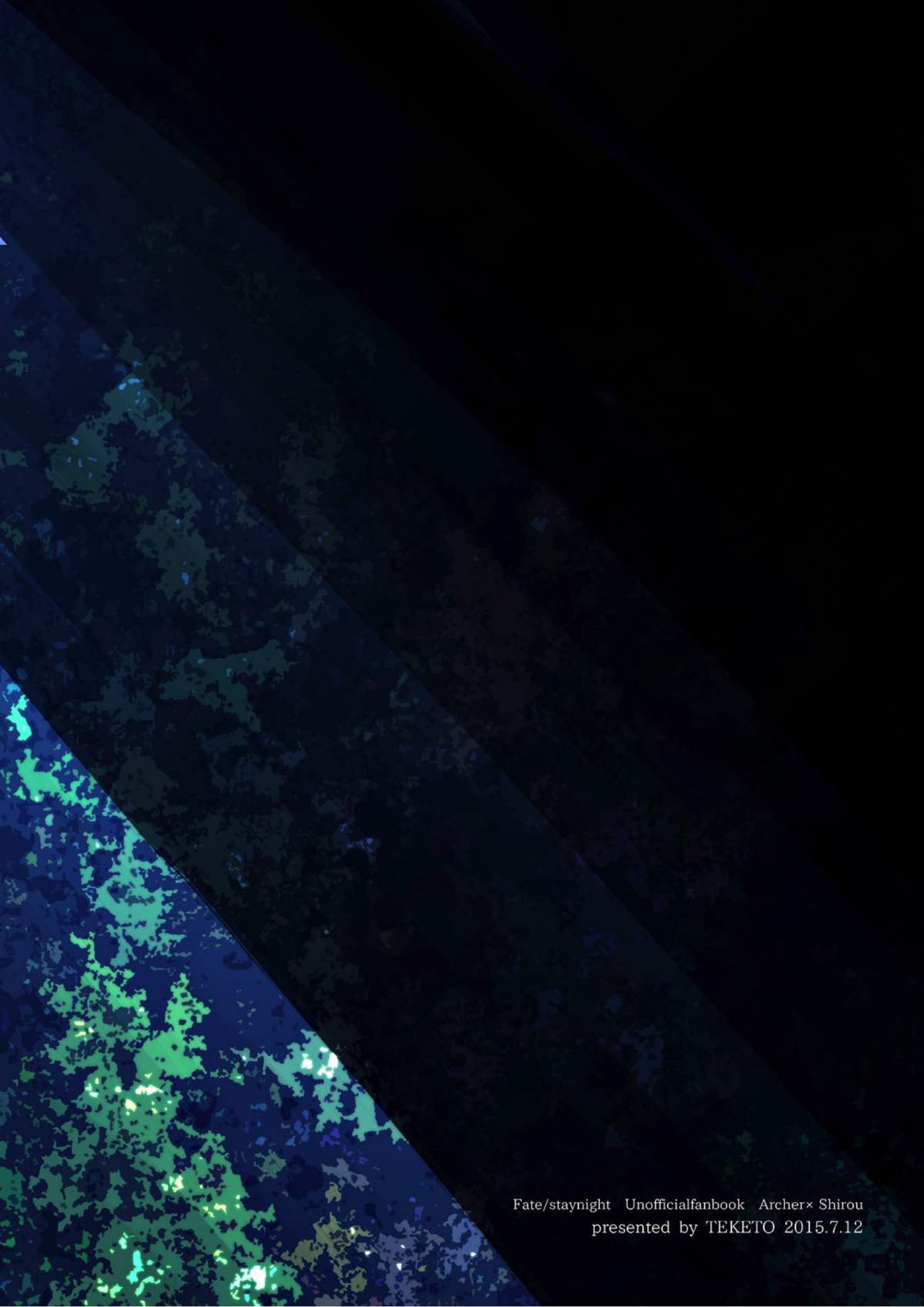




前言撤回、
魔力供給
してやらん

なっガキか
貴様は!

お前もな!!
く



Fate/staynight Unofficialfanbook Archer× Shirou
presented by TEKETO 2015.7.12